

日本大学生産工学部 正会員 岡本 但夫

日本大学生産工学部 正会員 木田 哲量

日本大学生産工学部 正会員・阿部 忠

1. 概 説

東京に代表される過密都市における大地震による被害は、計り知れないものと思われる。とくに最近、どこかで大規模地震が生じたならば、その程度の規模で大都市を襲った場合の被害の予想をマスコミは報じている。このような中で、河角博士による関東地方の中心部を襲う大地震の周期は69年でその誤差は±13年であるという地震周期説からしても大都市東京に住む人々にとっては、近い将来予想される大地震に対する十分な対策が望まれる所である。実際に、各行政段階においても綿密なる計画が練られているが近代都市は規模において巨大化、多様性の傾向を進める一方であるので種々の問題が山積している。一般に述べられるように、関東大震災に比較してみると、都市の過密密度の度合とその広域性が進んでいることと、都市構造の立体化による危険度の急上昇が被害の予測に困難なものとし、防災計画の進行を妨げている主因と思われる。これらのことから考えてみると交通機関の大量化の極とも思われる現状の活動時間帯に地震を襲われれば場合の対策は相当困難なものと思われる。そこで万一地震を襲われれば場合、罹災者であると同時に防災の主役となるべき市民がどのような意識を震災について持っているかを調査し今後の計画の一助とする主旨で市民アンケート調査を行なったのでその一部を報告する。

2. 調査内容

比較的近い将来に、過密都市東京を中心として関東地方南部に起る可能性が大きいといわれる震度6〜7程度の地震に備える意味で首都圏に居住している人々がどのような意識を持ち、どのような行動をしようとしているかを調査した。したがって調査内容は調査の意図からつぎのような分野にわたって36問を設定した。

- a) 地震に対する意識に関すること、b) 地震に対する備えに関すること、c) 地震時における行動に関すること、
d) 被害状況に関すること、e) 防災計画に関すること。

この調査は首都圏の1都3県に居住する18〜70才までの男女を対象として無作為抽出して直接面接方式により行った。しかしながらその中でも、最も大きな被害が予想される東京23区に重点を置き各区毎に他の調査地域の各程度の比重となることを目標として行うこととした。調査内容集計の場合に、首都圏を7ブロックに分割した。まず、東京を4ブロックとし、千葉県、埼玉県、神奈川県を各々1ブロックとした。東京都の分割方法は過去の震災、戦災の被害例から、都区部をさらに3ブロックに分け、都区外部を1ブロックとした。したがって各ブロックの地域割は次のようになる。

オ1ブロック 江東区、江戸川区、墨田区、葛飾区、足立区、荒川区、台東区、文京区

オ2ブロック 杉並区、中野区、世田谷区、太田区、目黒区、練馬区、板橋区、北区

オ3ブロック 中央区、千代田区、新宿区、渋谷区、品川区、豊島区、港区

オ4ブロック 東京都下

オ5ブロック 埼玉県

オ6ブロック 神奈川県

オ7ブロック 千葉県

3. 考 察

地震に対して鉄筋コンクリートの建物、高速道路の安全に対して信頼している人は、23.9%、11.3%である。また地震後電気、ガス、水道が使用できると思う人は、それぞれ30%、20%、8.5%である。

このことは、地下街に対する危険感の高さとともに、市民の地震に対する不安感をつのらせる大きな要因とし

地震について考えたことがあるか

地震に関する広報を受け取ったか
広報を読んだか

指定避難場所を知っているか
行ったことがあるか

	はい	いいえ		はい	いいえ		はい	いいえ (%)
Ｑ17ブロック	89.97	10.53		82.06	17.94		32.20	67.80
Ｑ27ブロック	83.74	16.20		85.97	14.03		32.27	67.73
Ｑ37ブロック	78.72	21.28		55.21	44.79		42.94	57.06
Ｑ47ブロック	75.64	24.36		79.44	20.56		53.57	46.43
Ｑ57ブロック	90.00	10.00		53.53	46.47		39.30	60.70
Ｑ67ブロック	87.50	12.50		70.20	29.80		69.94	30.06
Ｑ77ブロック	88.75	11.25		20.51	79.49		12.88	87.12
総 計	84.84	15.16		43.21	56.79		20.30	79.70
				56.25	43.75		45.00	55.00
				9.11	90.89		36.35	63.65
				35.00	65.00		52.14	47.86
				55.00	45.00		36.35	63.65
				81.82	18.18		33.33	66.67
				27.94	72.06		62.57	37.43

家族との連絡方法を決めているか

あなたは生きられると思うか

地震時の災害の主な原因は何か

	はい	いいえ		はい	わからない	いいえ		ガス器具	電気器具	石油器具
Ｑ1ブロック	24.46	75.54		26.63	54.18	19.19		37.46	61.9	56.35
Ｑ2ブロック	23.01	76.99		31.60	58.90	9.50		32.82	36.8	63.56
Ｑ3ブロック	16.31	83.69		25.39	57.09	17.02		23.76	42.6	71.98
Ｑ4ブロック	61.41	38.59		46.15	23.64	28.21		20.50	31.85	75.75
Ｑ5ブロック	27.50	72.50		22.50	58.75	18.75		23.75		76.25
Ｑ6ブロック	18.75	81.25		23.75	42.50	33.75		48.75	50.0	46.26
Ｑ7ブロック	22.50	77.50		32.50	58.75	8.75		40.00	12.50	47.50
総 計	19.81	80.19		29.86	50.83	19.31		32.44	50.5	62.51

どこが一番危険だと思うか

地下街は地震に対して安全と思うか

地下街で大地震にあつたらどうするか

	ビルの中	地下街	電車の中	繁華街		はい	いいえ		明か方向に行く	係員の指示に従う
Ｑ1ブロック	6.20	51.08	15.17	27.55		22.60	77.40		24.77	75.23
Ｑ2ブロック	7.98	46.00	7.98	38.04		15.98	84.02		28.83	71.17
Ｑ3ブロック	7.45	40.07	15.98	36.52		37.94	62.06		40.07	59.93
Ｑ4ブロック	7.69	48.72	8.97	34.62		17.95	82.05		41.03	58.97
Ｑ5ブロック	5.00	61.25	13.75	20.00		10.00	90.00		25.00	75.00
Ｑ6ブロック	18.75	46.25	15.00	20.00		10.00	90.00		26.25	73.75
Ｑ7ブロック	5.00	57.50	15.00	22.50		11.25	88.75		32.50	67.50
総 計	8.30	50.12	13.13	28.46		17.98	82.02		31.20	68.80

防災計画に協力できるか

防災拠点計画で自分の家の周辺の場合

近隣の協力体制はあるか

	はい	状況はよくない	いいえ	協力の条件はいい	協力の条件は悪い	はい	いいえ	
Ｑ1ブロック	34.98	58.82	6.20	16.10	70.90	13.10	12.69	87.31
Ｑ2ブロック	37.73	54.29	7.98	20.55	70.25	9.20	9.51	90.49
Ｑ3ブロック	28.01	63.48	8.51	9.58	79.43	10.99	11.35	88.65
Ｑ4ブロック	21.79	70.51	7.70	14.10	39.75	46.15	11.67	88.33
Ｑ5ブロック	37.50	61.25	1.25	12.50	78.75	8.75	6.25	93.75
Ｑ6ブロック	38.75	41.25	20.00	11.25	66.25	22.50	11.35	88.75
Ｑ7ブロック	37.50	52.50	10.00	26.25	55.00	18.75	15.00	85.00
総 計	34.18	57.01	8.81	15.76	65.75	18.49	11.82	88.18

避難訓練、防災訓練をしているか

いえるので、それらの対策を講じていく努力が必要と思う。また、地震の際に家族の人が無事避難できると思う人が22.0%であるが、これは自分自身生きられると思う人の29.9%と同様にかなり不安を持つ、都市生活を送っていると思われる。地震自体は、さけることのできない災害であるが、それから生ずる二次災害要素の減少から市民の不安を除くために対策が急務である。浅田伸(大成建設)、荒井明(構造物コンサルタント)、楠本隆生(大味味)の各氏の御協力に謝意を表します。

	はい	いいえ
Ｑ17ブロック	14.86	85.14
Ｑ27ブロック	12.27	87.73
Ｑ37ブロック	12.96	87.04
Ｑ47ブロック	15.38	84.62
Ｑ57ブロック	3.75	96.25
Ｑ67ブロック	13.75	86.25
Ｑ77ブロック	13.75	86.25
総 計	12.86	87.14